

**FUJITSU**

# FUJITSU セキュリティソリューション IT Policy N@vi

国内外すべてのお客様の「ICTガバナンス」実現に  
貢献するクラウドソリューション



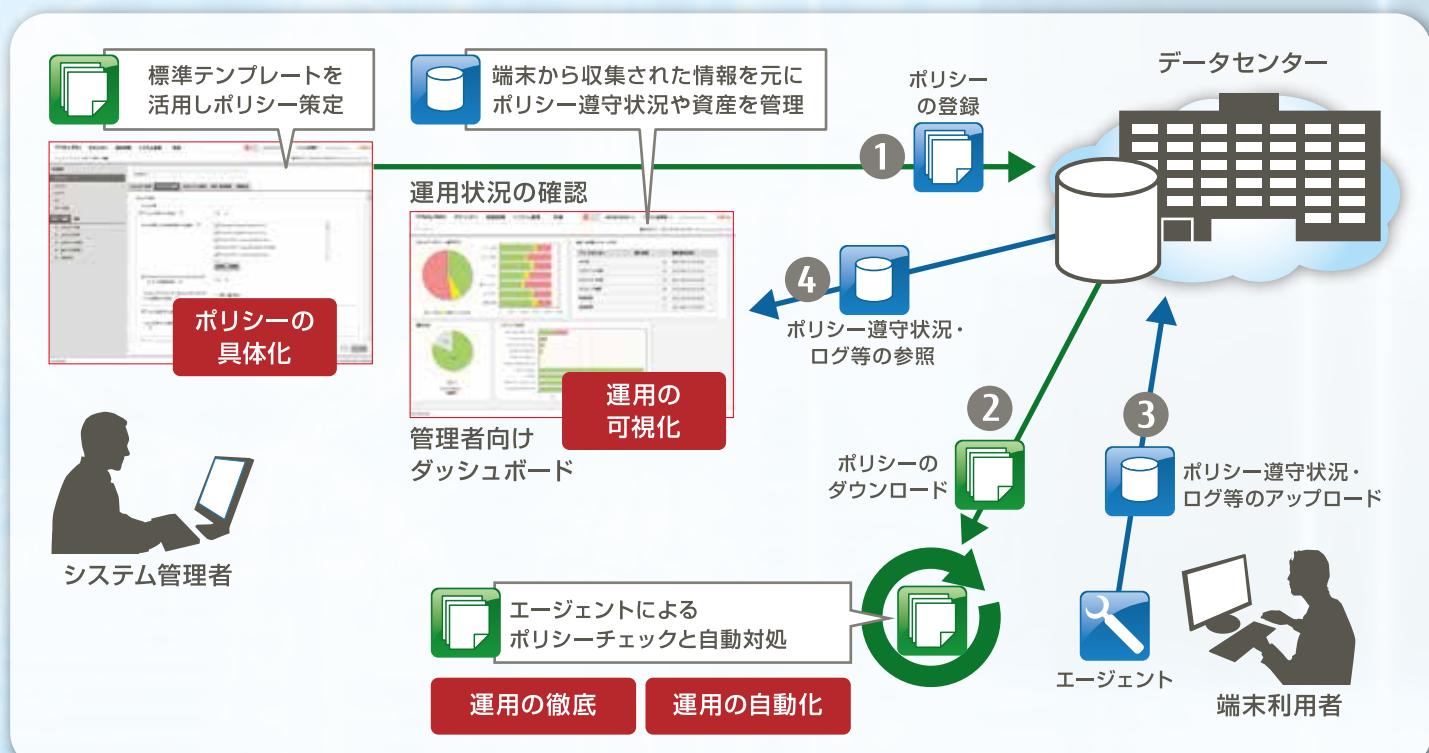
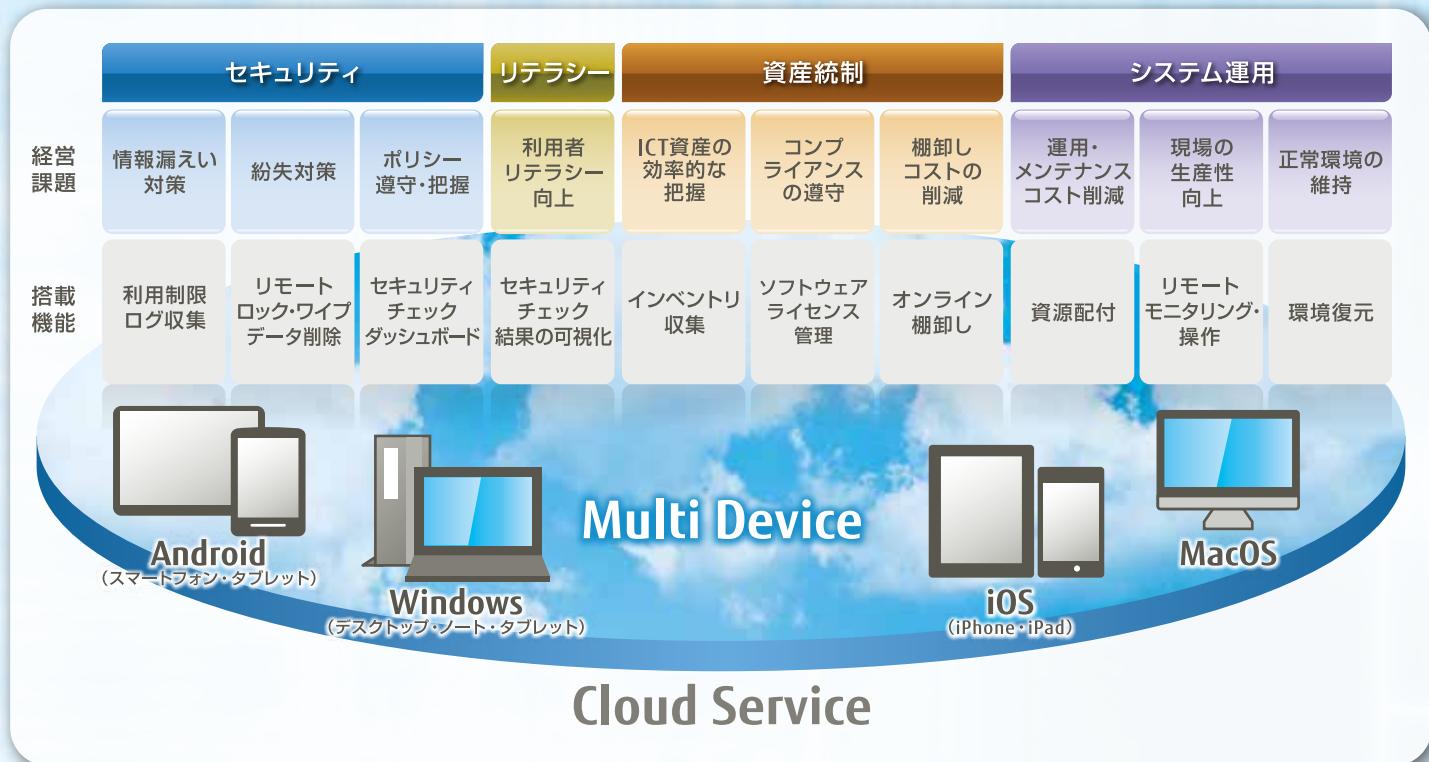
shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

# FUJITSU セキュリティソリューション IT Policy N@vi

近年、事業ドメインの中核にICTが利用されており、ワークスタイルの変革やBYOD(個人所有端末の業務利用)導入など、ICT利用シーンの多様化を含む大きな環境変化が起こっており、事業継続を脅かす様々なICTリスクが増大しています。

「FUJITSU セキュリティソリューション IT Policy N@vi」は、ICTリスクを回避する上でもっとも重要なエンドポイントである業務利用端末をコアに、ICTリスク対策を行うために必要な機能を提供することで、お客様のICTガバナンスの実現を支援するクラウドサービスです。





# セキュリティ

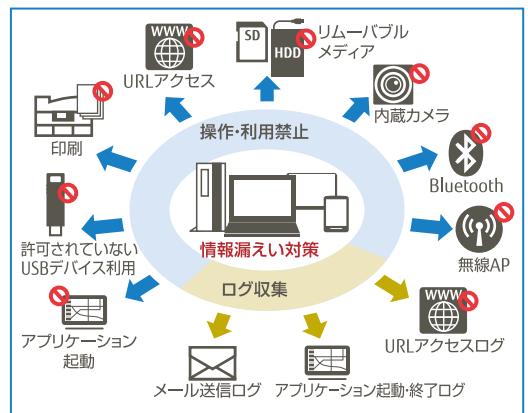
## 情報漏えい対策

### 利用制限 ログ収集

業務で利用する端末上には「個人情報」や「機密情報」など、管理を厳重にすべきドキュメントが多数保存されている場合があります。このような重要な情報が外部に漏えいした場合、企業は金銭的損失のほか、信用問題にもかかわる重要なリスクが生じます。こうしたリスクに備え、情報の漏えいの元となる様々なルートを適切に制限・監視することが重要となります。

### IT Policy N@viで実現できること

- アプリケーション起動禁止
- URLアクセス禁止
- ファイル持出禁止
- 許可のないUSB媒体の使用禁止
- 印刷禁止
- リムーバブルデバイスからのデータ読出禁止
- アプリケーション起動終了ログ、URLアクセスログ、メール送信ログ収集



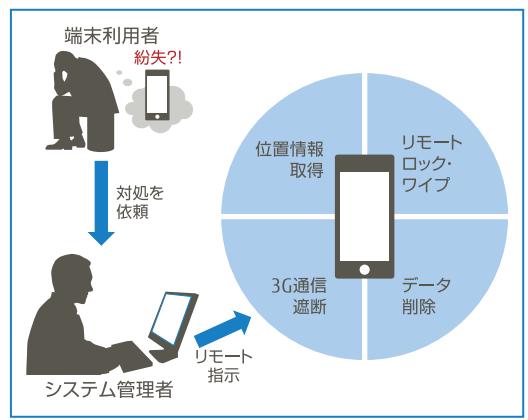
## 紛失対策

### リモートロック・ワイプ データ削除

スマートフォンやタブレットなどのモバイルデバイスが業務に頻繁に使用されるようになりましたが、モバイルデバイスを導入する際に懸念されるのは、セキュリティとプライバシーです。個人情報や顧客情報が保存されたモバイルデバイスを業務に利用する場合、本体の紛失や盗難によるデータの盗難・漏えいの可能性があります。このため、モバイルデバイスの業務利用時には紛失・盗難に備える必要があります。

### IT Policy N@viで実現できること

- リモートロック
- リモートワイプ
- ローカルロック
- ローカルワイプ
- 端末位置情報取得
- リモートデータ削除(指定ファイル、指定フォルダ、電話帳、ブラウザ履歴など)



## ポリシー遵守・把握

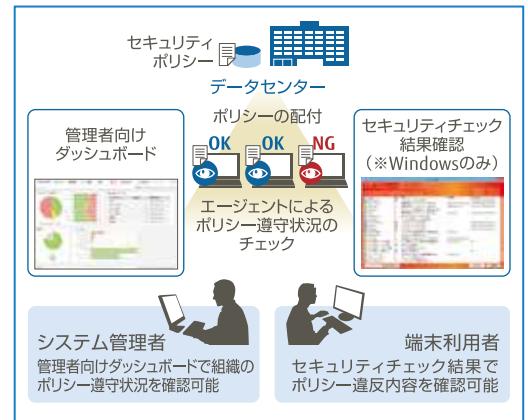
### セキュリティチェック ダッシュボード

ICTに関するポリシーは策定することがゴールではなく、策定したポリシーを遵守して適切な運用が継続的に行われるということが重要です。

また、ポリシーに違反している端末が存在する場合には、迅速な対応が求められます。このため、端末上では定期的なポリシー遵守状況のチェックが行われること、管理者はそのチェック結果を的確に把握でき、かつポリシーに違反している端末を容易に絞り込めることが必要となります。

### IT Policy N@viで実現できること

- スケジュール実行可能なセキュリティチェック(ソフトウェアバージョンチェック、パスワードチェック、禁止ソフトウェアチェック、必須ソフトウェアチェック、ソフトウェア設定チェックなど)
- ダッシュボードでのセキュリティチェック結果確認



# リテラシー

## 利用者リテラシー向上

### セキュリティチェック結果の可視化

多発するセキュリティ事故を受け、企業・組織ではセキュリティポリシーの策定を推進していますが、こうしたポリシーを遵守した運用を一般従業員に周知徹底させることは難しい状況です。

「ICT機器を使用する上で守るべきルールは何なのか」「何故そのルールを守る必要があるのか」といったことを従業員一人一人に理解させることで、セキュリティや法令に関する意識を高めるための取り組みが必要となります。

### IT Policy N@viで実現できること

- セキュリティチェック結果を利用者端末上に表示
- セキュリティ違反項目の改善方法を提示





# 資産統制

## ICT資産の効率的な把握

### インベントリ 自動収集

組織が保有するICT資産が「何処で」「どのように」使用されているかを把握することは重要な作業です。これらを正確に把握していない場合、「余剰資産によるコスト増」「機器の数や性能の不足による生産性の低下」「セキュリティ対策漏れ」などといった様々な問題を抱えることになります。こうした問題に対応するためにも、社内外に散在する多数のICT資産を効率的に把握することは重要となります。

機器一覧画面

機器詳細画面

### IT Policy N@viで実現できること

- ハードウェア情報収集  
(CPU種別、メモリ容量、ディスク容量、ネットワーク設定など)
- ソフトウェア情報収集  
(OS情報、ウィルス対策ソフト情報、インストールソフト情報など)

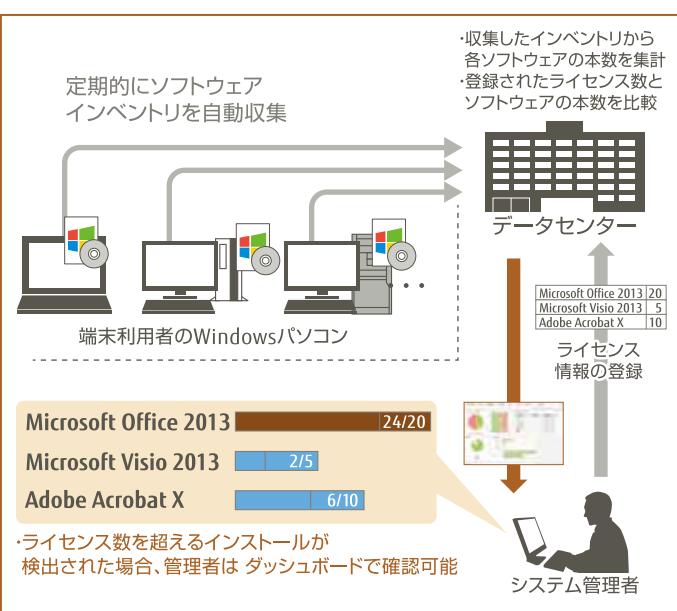
## コンプライアンスの遵守

### ソフトウェア ライセンス管理

ICT資産の中でも、ソフトウェアは業務に欠かすことのできない重要な資産の一つです。そしてソフトウェアは、著作権で保護されている著作物であり、保有するライセンス数の範囲内で適切に利用することが大前提となります。ソフトウェアの不正利用は、訴訟による損害賠償や社会的信頼の低下などのリスクを抱えることとなり、「コンプライアンス」の実現のためには、ソフトウェアライセンス管理が必要不可欠となります。

### IT Policy N@viで実現できること

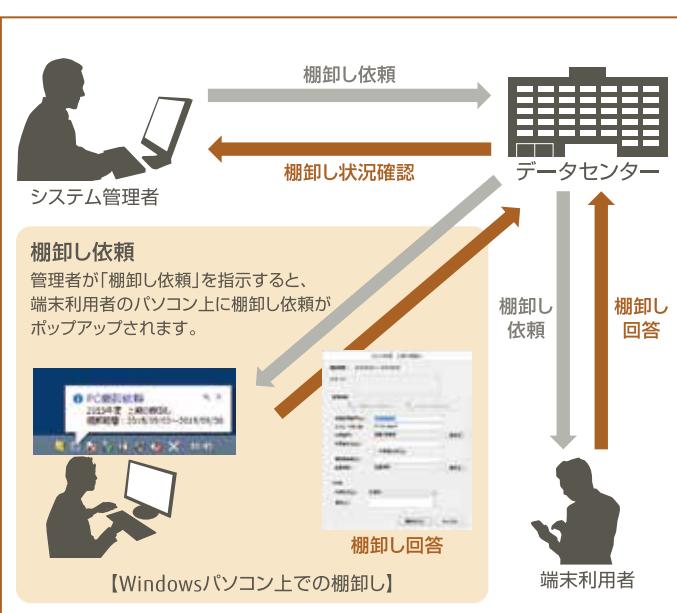
- ソフトウェアインストール数と保有ライセンス数の比較
- 組織割り当てのライセンス管理
- 機器割り当てのライセンス管理
- オンラインソフトウェア棚卸し



## 棚卸しコストの削減

### オンライン 棚卸し

ICT資産の棚卸しは、組織が保有しているハードウェア・ソフトウェア資産を見る化し、ICT資産を適正化するために重要な作業です。しかし、これらの作業はシステム管理者や端末利用者それぞれに多大な作業負荷を与えることになるため、実施頻度は減る傾向にあります。このため、「ICT資産の適正化」といった棚卸し本来の目的を実現するためには、効率的な棚卸しの仕組みの導入と定着化が求められます。



### IT Policy N@viで実現できること

- 管理者の指示により、端末利用者が「利用者氏名」「機器設置場所」「機器の状況」などをオンラインで棚卸し回答可能
- 棚卸し終了期限が近づいた際の督促



# システム運用(オプションサービス)

## 運用・メンテナンスコスト削減

### 環境更新オプション

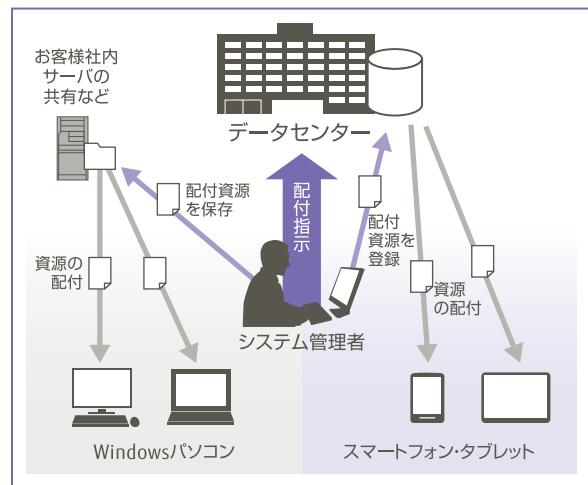
ICT機器上のソフトウェアは、安定稼働やセキュリティ対策などの観点から、適切なタイミングでの更新や修正モジュールの適用が必要となります。

こうした更新作業は、様々な要因から端末利用者自身で行うことが難しい場合が多く、管理者の作業となることが大半です。

このとき、管理者が個々の端末に対して更新作業を実施することは非現実的であり、管理者の指示により、対象となる端末に対して自動で更新・修正プログラムを配付できる仕組みが求められます。

#### IT Policy N@viで実現できること

- ファイル配付、削除
- フォルダ配付、削除
- スクリプト配付(実行)
- ソフトウェアインストール
- アプリリストアソフトウェアインストール



## 現場の生産性向上

### リモートモニタリング オプション

### インターネット サポートオプション

ICT機器の利用においてトラブルが発生することがあります。深刻なトラブルが発生した場合、業務停止に繋がることもあります。このため、トラブル発生時には、迅速な対応・解決が求められますが、管理者が個々のトラブルに対して現地に赴き対応することは多大な負荷となります。また、管理者が不在の遠隔地で発生したトラブルの場合、その解決までには長時間を要する場合があります。

こうした問題に対応するため、管理者が現地に赴くことなく、リモートからトラブルの状況を正確に把握し、対応できる仕組みが必要となります。こうした仕組みは管理者のトラブル対応負荷・コストを低減させるとともに、現場の生産性向上にも繋がります。

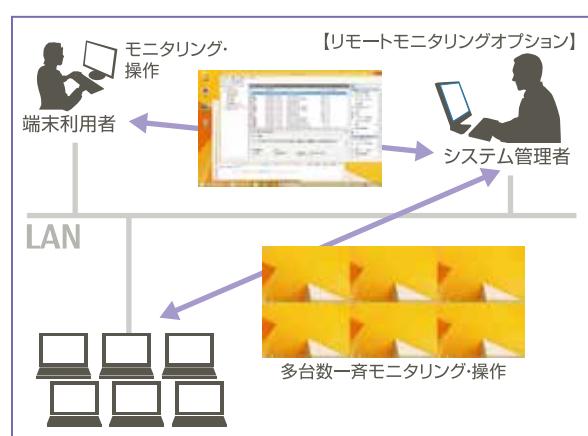
#### IT Policy N@viで実現できること

##### [リモートモニタリングオプション]

- LAN上に接続された端末のリモートモニタリング・操作
- 多台数端末の一斉モニタリング、操作
- ファイル送受信
- クリップボード共有

##### [インターネットサポートオプション]

- インターネット経由での端末のリモートモニタリング・操作
- デスクトップベン、ポインタでの操作指示
- テキストチャット
- ファイル転送



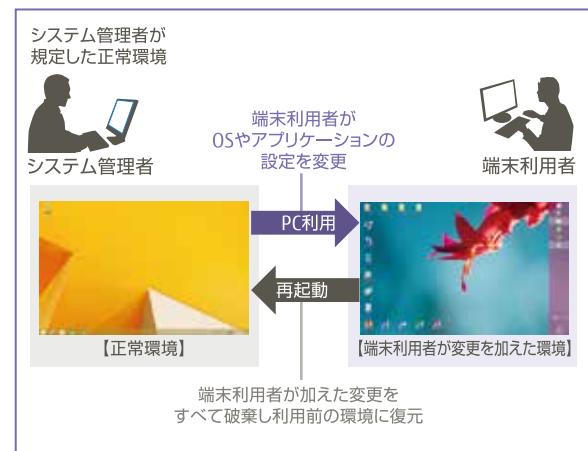
## 正常環境の維持

### 環境規定オプション

共用パソコンや特定業務専用パソコンでは、一人の端末利用者による環境変更が他の端末利用者にも影響し、その端末での業務やサービス提供が困難になる場合があります。また、ある程度パソコン操作に慣れた端末利用者であっても、ふとした誤操作によりパソコンが正常に動作しなくなるというケースは多々発生しています。こうした場合に備え、端末の正常環境を維持するという仕組みが重要となります。

#### IT Policy N@viで実現できること

- パソコン再起動(電源OFF/ON)で、管理者が規定した環境を復元
- ウィルス対策ソフトと連携し、最新のパターンファイルを維持したまま環境を復元



## 機能一覧

### ■ 基本サービス

セキュリティ	Windows Client OS	Windows Server OS	Android	iOS	MacOS
<b>情報漏えい対策</b>					
アプリケーション起動禁止	●		●		
許可のないUSBデバイスの使用禁止	●				
リムーバブルメディアからのデータ読み込み禁止	●				
ファイル持ち出しの禁止	●				
URLアクセス禁止	●		●		
メール添付ファイルの禁止	●				
PrintScreenキーの無効化	●				
印刷の禁止	●				
ログ取得 (アプリケーションの起動終了、メール送信、Webアクセス)	●	●	● <sup>①</sup>		
電話発信制限			●		
内蔵カメラ使用禁止			●	●	
Bluetooth使用禁止			●		
無線LAN利用禁止			●		
特定アクセスポイント以外利用禁止			●		
iOS標準アプリ利用禁止(AppStore、iTunesなど)				●	
<b>紛失対策</b>					
リモートロック	●		●	●	
リモートツイフ	● <sup>②</sup>		●	●	
リモートデータ削除	●		●		
リモート3G遮断	●		●		
ローカルツイフ	● <sup>②</sup>		●	●	
位置情報取得			●		

※1 アプリケーションの終了ログ、およびメール送信ログは記録されません。

※2 ワイプ機能を使用する場合、PCのハードディスクがBitLockerで暗号化されています必要があります。

ワイヤー処理実行後、PCでは起動時にBitLocker回復キーの入力が必要となります。

### ■ オプションサービス

基本サービスと組み合わせてご利用いただけます。(オプションサービスのみのご利用はできません。)

システム運用	Windows Client OS	Windows Server OS	Android	iOS	MacOS
<b>運用・メンテナンスコスト削減(環境更新オプション)</b>					
ファイル・フォルダ配付	●	●	●		
スクリプト配付・実行	●	●			
ソフトウェインストール			●	●	
アリストアからのソフトウェインストール			●	●	
<b>正常環境の維持(環境規定オプション)</b>					
環境復元	●				
<b>現場の生産性向上(リモートモニタリングオプション)※同一LAN上のPCが対象</b>					
リモートモニタリング	●	●			
リモートコントロール	●	●			
ファイル送受信	●	●			
クリップボード共有	●	●			
複数台PC一斉モニタリング・コントロール	●	●			

## OS動作環境

### ■ 管理対象端末

以下のOSが稼働するパソコン、Android・iOSが稼働するスマートフォン・タブレットをご利用ください。

※Windowsの対応エディション、サービスパックについてはホームページをご確認ください。

※ Android、iOSの対応バージョン詳細についてはホームページをご確認ください。

※動作検証済みのスマートフォン・タブレットについてはお問い合わせください。

Windows <sup>®</sup>
Windows <sup>®</sup> 7
Windows <sup>®</sup> 8.1
Windows <sup>®</sup> 10
Windows <sup>®</sup> Server <sup>®</sup> 2008, 2008R2
Windows <sup>®</sup> Server <sup>®</sup> 2012, 2012R2

Mac OS
Mac OS 10.3 以降

iOS
iOS 5.0 以降

Android™
Android™ 3.0 以降

### ■ 管理用端末

利用者端末と同一要件のWindowsOSが稼働する機器をご利用ください。

サーバーOSについてはお問い合わせください。

### ■ Web ダッシュボード

以下のブラウザ、Flashが必要になります。

#### ブラウザ

Microsoft Internet Explorer<sup>®</sup> 10以降  
Mozilla Firefox 39.0 以降

## ネットワーク環境

- IT Policy N@vi をご利用頂く場合、管理対象機器および管理用パソコンはインターネットに接続されている必要があります。
- お客様インターネットからインターネットへの接続にプロキシサーバを経由する場合、プロキシサーバはHTTP1.1に対応している必要があります。
- お客様インターネットからインターネットへの接続にファイアウォールを経由する場合、ファイアウォールでHTTPS通信を許可するルールを追加して頂く必要があります。
- AndroidやiOSデバイスはWi-Fi環境のみでご利用頂く場合で、かつインターネット接続にファイアウォールを経由する場合、ファイアウォールで「5223/tcp」ポートが開放されている必要があります。

※記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示®、TMを付記していません。

※ Microsoft Corporationのガイドラインに従った画面写真を使用しています。

※ カタログの内容は予告なしに変更する場合がございます。

## 富士通株式会社

〒540-0001 大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル

TEL : 06-6920-6050 FAX : 06-6920-4148

製品出荷時期・動作環境の詳細については、ホームページにてご確認ください。  
その他のご質問に関しては、下記の問い合わせ先までお願いします。

ホームページアドレス <http://www.fujitsu.com/jp/fwes/itpolinavi>  
お問い合わせ先 contact-itpolinavi@cs.jp.fujitsu.com



2017年4月発行